



JAあそだより



白糸の滝(西原村)

■主な内容

- 第4回通常総代会
- 新役員のご紹介
- 7月豪雨被害の状況
- 家の光、波野キャベツ収穫を取材



JA 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

第4回通常総代会

引き続き「JA改革の断行」と「総合3カ年計画」を推進

丸山信義組合長を再任

第4回通常総代会が6月24日午前9時から総代408人（書面議決含む）をはじめ来賓、自治体関係者、JA阿蘇役職員ら多数が出席して阿蘇体育館で開催されました。

先ず丸山信義組合長が平成16年度を振り返り、相次ぎ襲った台風被害の状況や復旧への取り組み、JA阿蘇の昨年度の実績、さらに新年度計画に対する各事



業方針などを説明しました。

続いて来賓祝辞が行われた後、議長に小国郷中央支所総代の佐藤英男氏を選任し議事に移行しました。

議事では、第1号議案（平成16年度事業報告書及び剰余金処分量案について）、報告事項（平成16年度貸借対照表、損益計算書及び附属明細書の報告について）、第2号議案（平成17年度事業計



挨拶をする丸山組合長と議長の佐藤英男氏



画及び関連事項について、第3号議案（補助金・交付金の申請事務等の委任について）、第4号議案（定款、定款附属書役員選任規程及び定款附属書総代選挙規程の一部変更について）、第5号議案（信用事業規程及び農地保有合理化事業規程の一部変更について）、第6号議案（役員退任給与金の支給について）、第7号議案（役員を選任について）など7議案についての議案説明が執行部から行われました。質疑応答の結果、全議案及び附帯決議が承認されました。

特に新年度は組合員の負託に応える経済事業改革の実践として、「JA改革の断行」とJA阿

蘇総合3カ年計画を中心に、下記の重点項目を掲げ取り組んでいくことになりました。

なお、役員選任では引き続き丸山信義氏を代表理事組合長に再任。中尾雄二氏が経済連専務就任に伴い非常勤理事副組合長に就任。後藤安弘氏が代表理事常務に再任。原山輝義氏が代表理事常務に選任。児玉範幸氏が常勤監事に再任されました。

重点項目

1. 地域農業の振興「まるごと阿蘇ブランド」の更なる実践。
- ①集落を基礎とした営農組織の育成。②地域ごと担い手の明確化と育成。
2. 事業実施体制の一層の整備と安定的な貯金・JAバンクローン伸長による顧客基盤の拡充。
3. 推進体制の整備・高度化による利用者の立場に立った推進活動の実践と総合生活保障の確立。
4. 予約購買制度の活用拡大・トータルコストの低減。

5. 「財務改善計画」「JA阿蘇総合3カ年計画」に基づいた財務基盤の強化。

一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます

阿蘇農業協同組合代表理事組合長 丸山信義

組合員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より農協事業に対しましては、深いご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、去る6月24日開催の阿蘇農業協同組合第4回通常総代会及び役員会におきまして私ども役員に選任され、就任致しました。農業・農協を取り巻く諸情勢は、一段と厳しさを増している折柄、その職責の重大さを痛感致し全力を傾注し努力致す決意でございますので、格別のご支援を賜りますようお願い致します。

平成17年度につきましては、場所別・部門別収支の確立を図り支所・施設等の再構築による経営改善に取り組みます。又、計画的な自己資本増強と不良債権の流動化による財務の健全化に努め組合員の負託に応えられるよう事業展開を図って参ります。

更には、指導体制充実のため県、地域振興局農業振興課の指導と合わせコンサルタント導入による指導員の資質向上と育成を図り広範囲の指導体制の構築に努め「安全・安心」な農畜産物の提供と地域農業の振興を図りながら販売力の強化を目指します。又、中部営農センター・南部営農センター・小国郷営農センターに営農センター担当理事を配し営農センター機能の強化を図ります。

金融部門については、ペイオフ全面解禁に伴い組合員並びに利用者の皆様の信頼に応えられるよう「JAバンク基本方針」を遵守し不良債権の減少に努め健全経営の確立に努めます。

購買部門については、組合員への安定的、高品質、低価格で供給するための仕入機能を見直しながら一方では、渉外活動の強化を図り組合員ニーズに応える低コスト資材の普及に努め購買事業の拡充に取り組んで参ります。

職員教育につきましては、組合員や地域住民の期待と信頼に応えるために、常に資質の向上を図りながら、協同組合理念の実践と高度で専門的な職務遂行能力を発揮するため職員の育成を図ります。

農業を取り巻く環境は、農家戸数や農業就業人口の減少、農業従事者の高齢化又新規就農者が減少し地域農業の担い手不足が深刻化しております。更に農産物価格低迷による農業所得の減少と一段と厳しさを増しておりますが、新体制のもと組合員の負託に応えるべく組合員・役職員一丸となって阿蘇農業の振興と地域発展のため邁進する所存でございますので、今後共尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新役員のご紹介



代表理事常務
原山 輝義



代表理事常務
後藤 安弘



代表理事組合長
丸山 信義



常勤監事
児玉 範幸



非常勤理事副組合長
中尾 雄二



渡邊 與市
(旧阿蘇一の宮
農協古城支所)



三森 和義
(旧阿蘇一の宮
農協坂梨支所)



河崎 徳雄
(旧黒川農協)



橋本 秀一
(南小国町)

理事 (区域または区分)



今村 秋敏
(西原区域)



内田 稔
(西原区域)



市原 新
(旧波野村農協)



高橋 達雄
(旧産山村農協)



菅原 光司
(旧阿蘇一の宮
農協中通支所)



増田喜久吉
(高森・野尻)



宇藤 仁
(高森・野尻)



森田 勝
(高森・野尻)



立田 壽一
(旧蘇陽)



工藤 信行
(旧蘇陽)



清田 一也
(旧黒川農協)



長野 恵藏
(旧長陽)



今村 健正
(旧久木野)



工藤 保雄
(旧久木野)



大塚 恵志
(旧白水)



高村 祝次
(小国町)



上野 政重
(旧阿蘇町農協
尾ヶ石支所・永水支所)



松村 勝美
(旧阿蘇町農協
尾ヶ石支所・永水支所)



森本 一仁
(旧阿蘇町農協
山田支所・第一支所)



北里 榮治
(旧阿蘇町農協
山田支所・第一支所)



田中 弘子
(女性部)



井手 孝義
(青壮年部)



室原 昭博
(南小国町)



佐藤 義久
(小国町)



宇都宮昭三
(小国町)

監事

(区域または区分)



草村 征憲
(高森・野尻)



山内 武光
(旧阿蘇一の宮農協宮地支所)



宮川 英明
(旧蘇陽)



下田 盛久
(旧白水)



山内 健次
(旧阿蘇町農協内牧支所・乙姫支所)



室原 節信
(南小国町)

平成16年度表彰者

通常総代会に先立ち平成16年度表彰式が行われ、丸山信義組合長から表彰者一人一人に表彰状が贈られました。表彰者は次の方々です。(敬称略)

★宮農関係者

(農産Ⅱ米)岩下 勇人

(中部管農センター管内)

(農産Ⅱ米)渡辺 廣

(南部管農センター管内)

(園芸Ⅱ大根・甘藷)中島 俊郎

(小国郷管農センター管内)

(園芸Ⅱチンゲンサイ)

井 道生

(中部管農センター管内)

(園芸Ⅱトマト)有働 純一

(南部管農センター管内)

(畜産)宇都宮幸盛

(小国郷管農センター管内)

(畜産)猪島 一明

(中部管農センター管内)

(畜産)阪田 健男

(南部管農センター管内)

(モデル団地Ⅱ大豆)

成川管農実践組合

代表 大津 功

(中部管農センター管内)

★共済契約高額者(3億円以上)

犬飼 秀嗣

(二の宮中央支所管内)

梅木 勇三

(二の宮中央支所管内)

大津 悦子

(白水中央支所管内)

★永年勤続者(職員)30年

春山 光男(本所金融共済部)

後藤 秀志(蘇陽中央支所)

永野 雅行(久木野中央支所)

家人 為雄(やまびこ)

後勝 一男(長陽中央支所)

江藤 政敏

(中部管農センター)

山部 勝久

(二の宮農機センター)

石本 典子(阿蘇町中央支所)

加久 文男

(中部管農センター)

★永年勤続者(職員)20年

山内 博史

(南部管農センター)

藤澤 博幸(西原中央支所)

藤本 明大(本所総務部)

水田埋没・消失、農業施設等への土砂浸入など 7月の大雨で小国郷に大きな被害



育苗センター



小国町西原



小国町北里



小国町坂下

7月7日から11日まで阿蘇地方に断続的に降り続いた大雨（総雨量約500ミリ）で、小国町と南小国町では、農作物・農業関連施設・JA施設等に大きな被害が出ました。被害状況（7月12日午後4時現在/JA阿蘇営農部）は下記の通りです。

「平成17年7月9・10日、大雨による被害状況」

	農作物	農業関連施設(生産者)	JA施設等	
小国町	【水稲】 全面埋没・消失……………6.3ha 一部土砂流入……………6.6ha 冠水……………10.0ha 計 22.9ha	【パイプハウス】 (ほうれん草・春菊ほか) 倒壊(全半壊)……………18棟 (32a) 土砂流入……………25棟 (65a) 冠水……………60棟 (170a) 計 103棟 (270a)	【育苗センター】 冠水・間口破損・土砂浸入 管理棟浸水・戸口破損 【ライスセンター】 荷受ピット浸水 計量ピット浸水 モーター3台浸水 種子粉乾燥機3台浸水	
	【畜産】 牛舎……………2棟 成牛……………4頭死亡、2頭不明			【倉庫】 肥料 200袋水濡れ 飼料 10袋水濡れ
	【野菜】 ほうれん草・春菊ほか…2.7ha 大根……………10.0ha 胡瓜……………0.5ha			
南小国町	【水稲】 土砂流入……………不明 冠水……………0.5ha	【パイプハウス】 (ほうれん草・春菊ほか) 冠水……………40棟 (80ha)		
	【野菜】 ほうれん草・春菊……………0.8ha 大根……………1.0ha 胡瓜……………0.3ha			

新「阿蘇町中央支所」 起工式行われる



安全を祈願する
丸山組舎長

新阿蘇町中央支所の建設現場



阿蘇町中央支所の新築工事起工式が7月1日、狩尾の建設地で行われました。式にはJAや工事関係者ら40人が出席し工事の安全を祈りました。新施設建設は阿蘇町中央支所管内の2支所を廃止し、購買店舗、農機車輛センター横に新築することで組合員の利用サービスに努めること等で、完成は11月上旬の予定です。

第二次営農コンサル事業 充実する講習や実験成果

今春から営農指導員の育成強化及び耕畜連携資源循環型環境保全農業の実践を目的とした「第二次営農コンサル事業」が始まりました。現在、南部営農センター管内では月に6回の講習会を開き、また生産者圃場に花・トマト・ミニトマト・ピーマン・イチゴ・ナスの展示圃を設け、土壌分析データを基に施肥設計などをする比較実験を行っています。



総会で挨拶をする
小林支部長

熊本県農林年金受給者連盟 阿蘇支部第29回通常総会



写真左より奥 相模政之氏（蘇陽）、荒牧健一氏（白水）、橋本農夫男（小国）

熊本県農林年金受給者連盟阿蘇支部は6月30日、第29回通常総会を阿蘇市一の宮町で開催しました。小林守男支部長をはじめ分会員43人が出席し、平成16年度事業報告など3議案を承認しました。

小林支部長は「日本経済、農業を取り巻く情勢は厳しく、我々の年金にも影響している。しかしながら年金は老後の収入財源であるため、足腰の強い連盟にし受給者の方々と共に頑張ってくださいませよう」とあいさつ。

議事終了後、中央会農林年金相談員の高森不二雄氏から「農

林年金をめぐる情勢」についての講演が行われました。

総会に先立ち、平成17年度慶祝者の表彰が行われ、米寿の4人、喜寿の16人に表彰状と記念品が贈られました。

平成17年度慶祝者（分会）は次の方々（敬称略）です。

◆米寿（大正7年生まれ）88歳

高木カツモ（白水）
飯法師末文（久木野）
岩本チトヨ（黒川）
大塚 浪夫（小国）

◆喜寿（昭和4年生まれ）77歳

中村 秀志（西原）
中村トシ子（蘇陽）
興梶 政之（蘇陽）
石田アヤ子（高森）
草部 孝子（白水）
荒牧 健一（白水）
今村 フヨ（久木野）
桐原 清利（久木野）
松本 昭一（阿蘇町）
三井ユキ子（阿蘇町）
池部フミ子（座山）
阿南ミヨ子（波野）
下城三智子（南小国）
河津 忠男（南小国）
長谷部アヤ子（小国）
橋本農夫男（小国）

(仮題)「九州の真ん中でできるキャベツ」をタイトルに、西日本一の生産量を誇るキャベツ産地である阿蘇市波野で7月22日、「家の光」10月号九州版の取材が行われました。

家の光編集部的小川憲一郎記者と水野ヒロシカメラマンが佐藤照司さんの圃場を訪れ、佐藤さんにインタビュをしながらキャベツの収穫作業を取材しました。

現在、JA阿蘇波野キャベツ部会(阿南米夫部会長・部会員



30人)では、昨年度は80haの栽培面積で3200tのキャベツを生産し、約2億5000万円の販売高をあげています。出荷先は県内が6割で福岡・北九州が4割となっています。1戸当たりの栽培面積は2.7〜2.8ha(平均)で、反収22万〜25万円となっています。

高冷地という気象条件を活かして、波野でキャベツ栽培が行われるようになったのは昭和30年代からで、昭和42年に国の産地指定を受けました。ちなみに当



時の栽培面積は35haだったそうです。また平成元年、他の産地に先駆けて波野野菜集荷場に真空予冷ができる設備が導入されています。



夏野菜販売促進キャンペーン
消費者から好感を得る！



熊本市のサンリブシティくまなんで7月10日、JA阿蘇の主要品目の一つであるトマト、ミニトマトの宣伝販売会が行われました。当日は雨天にもかかわらず客の入りが多く賑わい、産地のPRをしながら、生産部会代表の女性の皆さんやJA職員が一生懸命になって販売に努めていました。



「生育は平年より早い…」

JA阿蘇 南部穂肥講習会開催

J A阿蘇南部営農センター管内では7月4日、高森町の津留明義さんの圃場で今年の水稻穂肥講習会を開催し関係機関や生産者約30人が参加して行われました。まず阿蘇改良普及指導課より「温度は平年よりやや高く降水量は平年より少なかったが、生育は平年より早く、幼穂長は25〜10ミリと進んでいる」と説明が行われました。

7月6日、J A阿蘇一の宮集荷場でりんどうの出荷が始まりました。今年度は天候が悪かったことが影響して、例年に比べ約2週間出荷が遅れました。現在、一の宮町では萩の草地区で部会員10人で作付け面積6.5 haでりんどうの栽培が行われています。熊本県花としても知られるりんどうは紫やピンクといった色があり、1本からたくさんのお花が咲いているので、見

りんどうの出荷、 10月末まで続く



高森ナス部会

「産地指定になるようにつ
栽培を広げたい！」

9月にかけてヒゴムラサキ最盛期

昨年より本格的な栽培が始まった新種のナス「ヒゴムラサキ」の出荷が、高森町の森田勝さんのハウスでも最盛期を迎えています。このヒゴムラサキは阿蘇改良普及指導課の紹介で栽培が始められたもので、他のナスに比べあくが少なく、サラダ感覚で食べられることが特長です。



た目にも美しく鮮やかです。出荷は10月末まで続き、九州を中心とした市場に出される予定です。

現在、J A阿蘇高森ナス部会（森田勝部会長・部員25人）では2町6反でこのヒゴムラサキを栽培しています。昨年は相次いだ台風で露地栽培が全滅するという大きな被害が出ました。森田さんは「今年は大きな災害がないように祈っています。今後、国や県の指定産地になるようにさらに阿蘇管内にもヒゴムラサキを広め、価格が安定するように頑張っていきたい」と語っていました。

出荷は12月いっぱいまで続けられる予定です。

～平成18年度JA阿蘇職員募集～

1. 申込書類受付期間

平成17年9月1日から平成17年9月6日

高校卒（平成18年3月卒業見込み）学校を通じて申し込みください。

高卒（既卒）・短大卒・大卒は直接JA阿蘇本所総務人事課に申し込みください。

2. 試験日

一次試験 平成17年9月16日（金曜）

3. 募集要領の配布

本所総務部総務人事課及び各中央支所で配布します。

お問い合わせ先

阿蘇農業協同組合 総務部総務人事課 藤原

電話0967-22-6111

小国郷のヨーグルト工場、主に品質管理や生産業務を担当している東原実加さん。「まだまだ新人として、先輩方の指導や教えて作業を手伝っているというのが今の自分の姿です」と、やや謙遜気味です。大学（農学部）では机の上での勉強が多く、学んだことの1つ1つが今このヨーグルト工場で、確認できているという感じだそうです。

学生時代は友達とよく小国方面に遊びに来て、写真を撮ったり、温泉に入ったりしていたそうですが、当時はJA阿蘇に就職してここ小国郷に配属されるなんて、全く思いもよらな

JA阿蘇きらり

「ヨーグルト工場で
頑張っています!!」

小国郷営農センター事業課

東原 実加(とうはら みか)

昭和56年11月生まれ

住所=小国町



つたそうです。「職場の雰囲気も良く、皆さん方に支えられているので、早く一人前の職員になれるように一生懸命頑張ることが今の目標です」

自分自身の性格は「マイペースでおっとりしている」という東原さん。理想の男性は「自分自身をしっかり持っている人、意志をちゃんと持っている人」だそうです。



平成16年度阿蘇農政連 総支部委員会開く

平成16年度阿蘇農政連総支部委員会が7月30日、阿蘇市のホテルで開かれました。主催者挨拶後、議事に移り、第1号議案など4議案が審議され承認されました。また来賓の松岡利勝衆議院議員、三浦一水参議院議員の国会報告や出席者との意見交換なども行われました。



J A阿蘇女性部、「JAくま」を視察研修 お互いに活発な意見交換を行う



J A阿蘇女性部は7月19日、人吉・球磨の「JAくま」を訪れ、意見交換や視察を行いました。同視察研修には丸山組合長、後藤常務、田中女性部長をはじめ、各支部長・事務局ら22人が参加しました。一行はJAくま人吉中央支所に迎えられ、先ず丸山組合長が訪問の挨拶を行うと、野田アツ子JAくま女性部長、平田國明組合長から歓迎の挨拶を受けました。その後、双方の出席者が自己紹介を行い、今回の訪問の目的でもある「JAくま女性部組織改革の取り組みについて」「組織の現状と課題

について」などの議題で活発な意見交換をしました。

その後、人吉・球磨地方の物産や伝統工芸品を展示する人吉クラフトパーク石野公園や下球磨地域（人吉市・球磨村・山江村）の農家で組織された農産物直売所「くまっこ市場」を視察しました。今回の視察研修で参加者は「大変有意義な視察研修ができた。JAくまの女性部でも私たちJA阿蘇と共通する課題があることも分かった。ただ、もう少し時間があればよかった」と、感想を語っていました。

親善野球予選大会 「西原・久木野チーム」優勝

J A熊本県親善野球大会兼県農協役員野球予選大会が7月23日、小国町林間広場で行われました。大会には高森、長陽、一の宮、阿蘇町、小国郷、白水、西原・久木野の7チームが出場。各チームとも白熱の好（珍）プレーを演じスタンドを沸かせました。接戦の結果、西原・久木野チームが優勝し、8月6日行われた県大会に出場。初戦でJAくまと対戦しましたが、日頃の實力が充分に出しきれず敗退しました。



優勝した「西原・久木野チーム」

JA阿蘇の各施設や各支所の事業内容や話題を紹介する「JA支所訪問」、今回は「二の宮農機具センター」です。

センター長 田中 信矢

〒869-2612

阿蘇市一の宮町宮地387-5

TEL0967(22)3855

FAX0967(22)0668

「快適な農作業態勢」が キャッチフレーズ

「二の宮農機具センター」は、JA阿蘇本所横にあります。同センターは農業機械だけの大型整備工場として修理のほか、農機具の販売まで行っています。スタッフは田中センター長を含め7名(整備・販売5、事務1)で農機具1級整備資格6名、自動

車2級整備士3名となっています。管轄としては一の宮・産山・波野となっています。

現在、稲刈りなど農繁期を前に収穫機(コンバイン)の整備に力を入れており、「快適な農作業態勢」をキャッチフレーズに全スタッフが頑張っています。

また、農機具が大型化し高度化して修理も複雑になってきているため、それらに対応できる技術力の向上にもスタッフ全員が取り組んでいます。

田中センター長は「今後ともJA阿蘇の重整備工場として、組合員の皆さんの信頼を大切に、農繁期態勢、休日対応を万全にして、地域的な障害解消をはかり、組合員の皆さんへのサービスもいっそう充実させたいです」と語っていました。



一の宮農機具センタースタッフの皆さん



一の宮農機具センター



整備中のスタッフ

JA阿蘇職員異動のお知らせ

氏名	新 辞 令	発令年月日	旧 辞 令
小橋みゆき	阿蘇町中央支所金融経済課 LA係(阿蘇町東部)	平成17年6月13日	阿蘇町東部支所出納係
田上 修二	阿蘇町中央支所金融経済課 LA係(阿蘇町ブロック長)	平成17年7月1日	阿蘇町中央支所金融経済課 LA係
室富 美幸	一の宮中央支所金融経済課 LA係(一の宮地区ブロック長・波野・産山)	平成17年7月1日	一の宮中央支所金融経済課 LA係(中部地区ブロック長)
渡邊 俊明	阿蘇町中央支所購買課給油所係	平成17年7月1日	阿蘇町東部支所西部給油所係
岩下 仁	南部農機車輛センター車輛係	平成17年7月1日	新採用
笠野 結希	蘇陽中央支所購買課給油所係	平成17年7月1日	新採用
笹原 祥樹	中部営農センター園芸課園芸係	平成17年7月1日	新採用
橋本健太郎	小国郷営農センター園芸課園芸係	平成17年7月1日	新採用
古庄 範寛	蘇陽中央支所金融経済課金融経済係	平成17年7月1日	新採用
副田 慶太	南部営農センター園芸課園芸係(西原駐在)	平成17年7月1日	新採用
大倉 悠輔	購買部購買課 JA阿蘇自動車センター係	平成17年7月1日	新採用
大津真理奈	阿蘇町中央支所購買課購買係(グリーンショップ やまびこ)	平成17年7月1日	新採用
宇都宮寧美	小国郷営農センター事業課庶務係	平成17年7月1日	新採用
林田 真季	白水中央支所金融経済課金融経済係	平成17年7月1日	新採用
岩下 龍二	高森中央支所購買課購買係	平成17年7月1日	新採用
目久美祐介	白水中央支所白水給油所係	平成17年7月1日	新採用
平野伸太郎	阿蘇町中央支所購買課購買係(グリーンショップ やまびこ)	平成17年7月1日	新採用
後藤 真智	南部営農センター園芸課専任指導係	平成17年7月1日	新採用
西村 瑞貴	事務電算室事務電算課経理事務処理係	平成17年7月1日	新採用
東原 実加	小国郷営農センター事業課事業係	平成17年7月1日	新採用
矢津田秀樹	長陽中央支所金融経済課金融経済係	平成17年7月1日	新採用
竹原秀一郎	JAグリーンなんごう店係	平成17年7月1日	新採用

熊本県JA農業インターン事業 JA管内で農業やりたい人を募集!

事業の目的

農業従事者の高齢化等により、担い手不足が深刻になっている中、他産業に従事していたUターン就農希望者等に対し、実践的な農業研修を行い、地域農業の担い手となる人材の育成・確保を図る。

募集期間

平成17年7月1日(金)～8月30日(火)

募集対象者(応募条件)

他産業に従事していたUターン就農希望者や就農して間もない者、及び新規参入就農希望者等で、かつ、JA阿蘇管内において就農(経営開始)を目指す者で下記の条件を満たす者。

- 年齢 18歳～50歳
- 就農希望地の住民登録を行うこと
- 就農希望地のJAの准組合員になること

募集人員

県下全体で30名以内

研修期間

10ヵ月間(6月～3月)(平成17年度は7ヵ月間、9月～3月)

研修内容等

- 実践研修…農家等へ派遣し、栽培技術や農業経営等について研修する。
- 座学………県、関係機関、JA中央会等が実施する農業の基礎的知識等について研修する。但し、研修に係る手当はありません。傷害保険は付与します。

事業実施主体等

- 事業実施主体はJA熊本中央会。
- 地域JAは研修生の募集・一次選考を行うとともに、市町村や関係機関と連携を図りながら地域における実践研修や就農定着等の支援を行う。

選考方法等

- 一次選考(JA)、二次選考(JA中央会)を経て9月1日に事業スタート。

申込・お問い合わせ先

JA阿蘇営農部(担当=山部・曾我・石松)
住所=〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL:0967-22-6115
※申込書はJAに備えてあります。

理事会・監事会報告

平成17年5月から7月に「理事会」および「監事会」が下記の通り開催されましたので、その内容を掲載いたします。

■ 平成17年度第3回理事会

日時 平成17年5月24日午後1時30分
場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
4. 月末実績報告
 - 1) 平成16年度最終決算について
 - 2) 役員選任について
 - 3) ケント牧場債権について
 - 4) J Aマイカーローン「輪・輪サマーキャンペーン」実施に伴う対象ローンの金利設定について
 - 5) 平成17年度家畜導入事業利率及び農協助成金について
 - 6) 6月臨時理事会開催について
 - 7) 平成17年度コンプライアンスプログラム実施計画(案)について
 - 8) 農外事業資金の対応指針について
 - 9) その他

報告事項 平成17年度基本方針について
報告事項 職員給与状況について
報告事項 平成15年度J A別事業について
報告事項 遊休資産の状況について

■ 平成17年度第4回理事会

日時 平成17年6月10日午後2時30分
場所 チサンホテル熊本

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
 - 1) 平成16年度決算監事監査報告について
 - 2) 全国監査機構の監査報告書について
 - 3) 貸出金について
 - 4) ケント牧場債権について
 - 5) 平成17年産米出荷契約金支払について
 - 6) 座談会日程について
 - 7) その他

報告事項 役員候補者の略歴及び所信について

■ 平成17年度第5回理事会

日時 平成17年6月24日午後1時30分
場所 一の宮中央支所大会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

- 1) 仮議長の選出について
- 2) 代表理事及び役付理事の選任について
- 3) 理事の順位について
- 4) 各専門委員の選任について
- 5) その他

■ 平成17年度第6回理事会

日時 平成17年7月12日午後1時30分
場所 一の宮中央支所大会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
 - 1) J A阿蘇常勤体制について
 - 2) 各専門委員の選出について
 - 3) 貸出金について
 - 4) 職員夏季賞与支給について
 - 5) その他

報告事項 平成17年度理事会日程について
報告事項 非常勤理事研修会の開催について
報告事項 阿蘇町中央支所建設に伴う請負契約について
(請負業者 佐藤工務店 請負価格 79,300千円(税抜価格))
報告事項 平成18年度職員募集要領について

● 平成17年度第2回監事会

日時 平成17年5月26日午後1時30分
場所 本所2階会議室

- 1) 平成16年度決算監事監査報告書について
- 2) 平成16年度全国監査機構監査報告書について
- 3) その他

● 平成17年度第3回監事会

日時 平成17年6月24日午後1時55分
場所 一の宮中央支所小会議室

- 1) 常勤監事、代表監事の互選について
- 2) 監事の順位について
- 3) その他

● 平成17年度第4回監事会

日時 平成17年度7月11日午後1時30分
場所 阿蘇ホテル会議室

- 1) 各監事に対する報酬額の決定並びに支給方法について
- 2) 平成17年度米友等棚卸監事監査について
- 3) 平成16年度J A全国監査機構決算監査報告書について
- 4) その他

ATM(現金自動貯金預払機) 新設のお知らせ

平成17年8月13日(土曜日)より、ATMの施設稼働を開始しました。

場 所 阿蘇町東部支所
稼働時間 平日:午前9時～午後6時
土曜:午前9時～午後6時
日曜・祝日休業



皆様のご利用を心よりお待ちしております。

詳しいお問い合わせは、阿蘇町東部支所窓口までお願いします。



綿田 健蔵

今は何も解りませんが、今から毎日勉強をして取得できる資格は全て取り、頑張っていきたいと思えます。



松野 寛

JA職員としての自覚を持ち、組合員さんや先輩職員方に信頼されるように頑張りたいと思います。



小崎 里香

何事にも積極的に取り組み、責任を持って頑張ります。よろしくお願いします。



田中 隼人

JAの新入職員として早く仕事に慣れ、一生懸命頑張ります。



江藤 秀晃

JA職員として農家の皆様のお役に立ちたいと思えます。一生懸命頑張ります。

JA阿蘇平成17年度
中途採用職員の皆さん

「白糸の滝」説明 表紙

「白糸の滝」はJA阿蘇河原支所(西原村)から約2kmほど里道を登った所にあります。一帯は「白糸の滝自然公園」として整備されており駐車場もあります。高さ20mから流れ落ちる水は、神秘的でまさに白糸のような感じです。この滝には次のような「寄姫伝説」が伝えられています。昔、兵部という若者がこの滝で出会った寄姫に恋をして結ばれました。ところがある年、日照りが続き兵部ら村人は困ってしまいました。そこで寄姫は滝に身を投げ雨乞いを祈願しました。そのお陰で日照りは解消しましたが、滝に横たわる寄姫の姿は以前兵部が助けた大蛇であったということです。